

小粋でリズムカルな軒先—— 軽快な乾式工法が標準施工



【州浜屋根】の特徴

- ① 色調は格調高い質感、形状はシンプルでモダン。
- ② 瓦の全製品が耐風防災機能(モルタル・漆喰不要)。
- ③ 瓦の部品数が少量で、乾式工法により、施工の経済性を重視。
- ④ 三州瓦の優れた基本性能を完備。

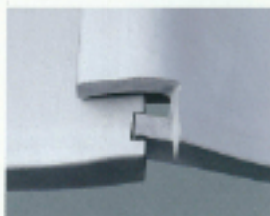
ちょっと贅沢な 棟部のオプション施工



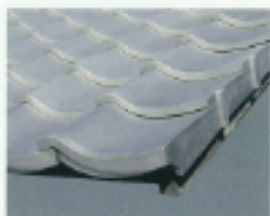
【州浜軒(1)】
軒先を軽快な州浜軒にする
ため、日本瓦を使った
州浜瓦の印象はガラリと
変わります。



【引渡タテ板】
タテ板を施工後、
梅雨時の雨掛け対策等に、
引渡タテ板を固定し、
空室溝を引渡タテ板にはめ込んで
コブ着している状態。



【州浜軒(2)】
雨戸等は施工時の都合合わせが
不要で、スッキリとした印象です。
【PVC防水膜】



【州浜角・州浜抽】
タテ板は張り合わせが不要で、
シャープな陰影は気品ある
角仕様の新しいデザインの
瓦です。



【タシ雨戸】
軒先からの空気を取り込むとともに、
小動物が野鳥館に入り込まない
ように、しっかりとガードします。



【大棟部(1)】
棟部は施工の平準化と軽量化を
実現するメタルロール乾式施工法を
採用しました。



【大棟部(2)】
メタルロール乾式施工法に、
特殊固定止と耐風内装部を
ビス固定します。



【隅棟部】
メタルロール乾式施工法に、
特設二つ折耐風隅棟部・州浜隅棟止を
ビス固定します。



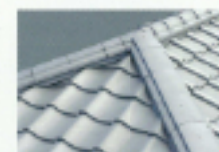
【大棟直戸(1)】
棟部に屋根が張り付いてから、
固定テープを張り付けます。



【大棟直戸(2)】
屋根に大棟直戸をビス固定します。



【流れ壁直戸】
壁面部に直戸を固定する場合は、
平の直戸には大棟直戸、流れ壁には
流れ壁直戸での固定します。



【隅直戸】
金物を取り付け、固定テープを
張り付けてから、隅直戸を屋根に
カチンカチンと固定します。



【州浜大面なし(1)】
メタルロール乾式施工法に、
州浜大面なし・中面部に棟木を
ビス固定します。



【州浜大面なし(2)】
州浜大面なし・上の棟木に
州浜大面なしを固定します。